

## 後輩へのメッセージ(平成28年度入学生)

何も資格が取れないと思い生命科学科を迷っているならばとてももったいないです。「研究者」にもいろいろあります。たくさん調べたり、鳥大の学生と話したりしてみてください。きっと驚きとワクワクが生まれます。

頑張れば受かると思います。

全国各地から似た志をもつ人たちが集まるので、この出会いはこの学科でしか出来ないと思う。受験までにしっかり勉強をして「もうほぼやり切ったな、後は受験に臨むだけ」というような気持ちでポジティブに受験勉強をしてください。

たとえ高校が文系でも理系科目を理解できるように何度も繰り返して勉強すればセンター試験は大丈夫です。理系文系に関わらず、自分がやりたいこと、学びたいことができる大学を選ぶのがいいと思います。

進路決定は思いつめすぎない方がよい。

臨床や患者と密に接したいと思っているなら医学科を目指した方がよいと思う。生命科学科自体は40人前後の小規模な学科なので比較的仲良くなりやすいし、意外と浪人生も多いので現役、浪人関係なくとけ込めやすいと思う。

私は高校の科目では生物が好きで数学が苦手でした。数Ⅲまでやることに受験期の夏に悩みセンター後も数学が足を引っ張るのではと不安に思っていたのですが、先生との少人数の授業で過去問の対策を何年分もやることで最後に数Ⅲの苦手意識が和らぎ自信を持てるようになりました。最後まであきらめないことが私の受験目標で大切な事だと思っています。

センターの点で一喜一憂しない。推薦Ⅱという方法もある。

決して医学科じゃないから自分はダメなんだと卑屈にならないでください。ここでしか、あなたにしか、出来ないことは必ずあり、そこで花咲かせましょう。

センターを甘く見るな！！(特に英語)マーク対策で179点取っても甘く見るな。

数学は基礎の徹底、英語は長文の慣れと和文英訳の練習。面接は普段からニュースを見て情報を集めておく。またそれに対する意見を持つ。自分の持っている中途半端な知識は使わない方がよい。質問の回答がすぐ出てこなくても考える時間をくれる(意外とそれで思いつく)。過去問が手に入ればそれで模擬面接をするとよい。

面接対策は思っているよりも時間がかかるので、余裕を持って準備した方がよいと思う。

自分のしたい研究を見つける。生命科学科は仲がよいよ。

厳しい現実が目の前にあったとしても、ほんのわずかな可能性を信じて挑戦することが大切だと思う。

センター対策をしっかりやること。

面接対策はちゃんとしてきた方がよい。数学はフォーカスを3周やれば楽勝。医学研究したいなら、ここがオススメ。

四国の人間でも片道6時間足らずで行けるのだから、オープンキャンパスは行くべき。本州の人間で、本学科を検討しているのなら、尚更行くべき。

受験はセンターの得点でほとんど決まるから、そこまで心配しなくてもいいし、面接に関しても自分なりの意見を説明できれば良いと思う。大学生活は、すごく勉強に追われる毎日ではないので、勉強しながらもサークル、部活、バイトなど両立して充実した生活が送れると思う(湖山にいる間は)。

大学は自分のやりたいことをはっきり決めて決めた方がよい。

漠然とでも良いから自分がどういふことをこの大学のこの学科で学びたいか真剣に考えるべき。生物選択でなかった人は自分で勉強しないと厳しいものがあるかも。

医学研究に興味のある方は頑張ってください。

とても良い学部。オープンキャンパスとかで来て、田舎と思っても本当に住めば都です。

ホテルは早めにとった方がよい。

この学科ではたくさんの分野を学べるから、自分のやりたいことに当てはまっていたら来るべきだと思う！

少しでも体の仕組みや病気に興味があるのなら迷わず受験することをお勧めします。入学してからは楽しいイベントやサークル活動がたくさんだけでなく、今までの勉強と違い自分が好きな事だけを思いっきり学べる場所だと思います。

大学を偏差値で決めずに、自分がその大学で何をやりたいのかを考えるべき。

部屋を取るのが遅く、1週間ホテル暮らしというハメになったので、なるべく早く行動した方がよいと思う。

将来の夢が研究者であるなら、このような学科ではなく回り道することも大切だと思う。本当にそれでよいのかよく考えなくてはいけない。

まだ始まったばかりだけど、既に楽しいです。受験頑張ってください。

やりたいことをやる！

大学に何度か見学しに行って、大学の仕組みを知っておくとよい。

国内でも数少ない医学部にある生命科学科で、ここでしかできない研究が出来、とても魅力がある学科です。筆記試験に加え、集団面接試験があり、いかに自分をアピールできるかが重要だと思います。この学科の特徴をしっかり予習した上で自分の考えを持てるとよいと思います。

都会のいかにもキャンパスライフって感じの風景に憧れる気持ちはすごくわかります。でも、大学は学ぶ場所ですから学びたいことを第一に決めた方がよいと思います。確かに鳥取は田舎です。でも、住んでみるとそんなに気にならないものです。

大学では同じ夢を持った人と共に学ぶことが出来るし、自分のやりたいことを思う存分できるので、とても楽しいです。

医学に関する研究に興味があれば、ぜひ生命科学科に入って下さい。鳥取大学の周辺は自然がたくさんあるので都会が苦手な人にはおススメです。

研究と言っても、人によってやりたいことが違うし、1年の今の段階で「こういうことがいたい」と言える人が多いほど刺激的な所

生命科学科では1年生ではあまり専門的なことはしませんが、幅広い知識を持つておくのは大切なのでしっかり講義を聞きましよう